

安保法制「違憲」で攻勢

野党、政府に撤回迫る

新たな安全保障関連法案を審議する衆院特別委員会
は5日、一般質疑が行われ
た。野党側は、4日の衆院
憲法審査会で憲法学者が集
団的自衛権の行使を可能と
する関連法案を「憲法違
反」と指摘したことを取り
上げ、法案撤回を求めた。
与党内では、法案審議への
影響が出かねないとして危
機感が広がっている。

安保法制をめぐることは、
4日の憲法審査会で、自民
党などが推薦した参考人の
憲法学者3人が「仲間の国
を助けるために海外に戦争
に行くのは9条違反だ」な
どと述べ、いずれも「憲法
違反」との見解を示した。

この日の特別委で、民主
党の辻元清美氏が「与党推
薦の参考人までも違憲と言
ったことは深刻な事態」と
して法案撤回を要求した。
これに対し、中谷元・防衛
相は「これまでの憲法9条
をめぐる議論との整合性を
考慮した。行政府における
憲法解釈の裁量の範囲内
で、憲法違反にはならな
い」と反論した。

一方、法案作成時の与党
協議で座長だった自民党の
高村正彦副総裁は5日の党
役員連絡会で、集団的自衛
権の行使容認について「国
の存立を全うするための自
衛の措置を講じうることは
主権国家として当然」とい
う最高裁の法理の範囲内だ
と述べ、現行憲法の範囲内だ
とすることを強調。「自信を
持つて与党一丸となって政
府を支えていきたい」と訴

明。わが国の存立を脅かす
など「武力行使の新3要
件」を満たす集団的自衛権
の行使は、憲法違反に当た
らないとの政府の考えを強
調した。

えた。

自民党の佐藤勉国対委員
長は5日、各省市の官房長
を国会内に集め、今回の問
題や年金記録の流出につい
て「厚生労働省、憲法審査
会など誰が考えても事前に
防ぐことができた。緊張感
の欠如があるのではない
か」と述べた。

聖地を照らす

エリ
ダ
歴
的
的

「対口制裁」